

令和4年4月28日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 11時 30分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 渡辺 優子
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	野谷 悦
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦
○	教育委員	渡辺 優子

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 椎野 文彦 |
| 教育総務課長 | 下條 博史 |
| 教育総務課長代理 | 田中 明夫 |
| 生涯学習課長代理 | 竹本 直昭 |
| 教育総務課指導班長 | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長 | 大木 健司 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 3名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和4年度4月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

渡辺委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 4月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(岡野委員) 各学校のPTA総会などで小中一貫教育について説明をしているということですが、質問などはありましたか。

(教育長) 総会に割り込んでいたため多くの時間が取れない中でしたが、質問などはありませんでした。今後報告していきます。

(岡野委員) 県教育委員会の県立高校の改革については、中学校の先生方との情報共有はされているのでしょうか。

(教育総務課課長代理) 例年5、6月に開催される学校の教員向けの進路指導説明会では、中学3年生の入試について説明されています。今年は、現中学校2年生から変更される入試制度について説明がされる予定です。また、保護者向けに県がリーフレットを作成し配付する予定となっています。

(岡野委員) 県立高校の再編では、学校数を少なくし、残す学校は、特色が際立っていくことがより顕著になっていくと考えられます。そのため、子どもたちは、今までよりも鋭い感覚で、高校を選ぶ必要があると感じています。自分に合った学校を選択できるような環境づくりは、小中一貫教育の出口戦略の、どういうことを目指していくことに直結する話だと思いました。また、県立高校の学習指導要領が変わることは、小中学校の教科のカリキュラムのどこを重視していくのかにも全部紐付けられて、繋がっていくことだと思うので、そのあたりを汲み取って考えていただけるといいかなと思います。高校の社会科は、近代史を中心に重点が置かれていく学習指導要領に変わっていきます。小中学校の社会科も近代史に重点が置かれていくのか、背景も含めて、考えていく必要がありますので、県立高校の動きを見続けていくことは、大事なことだと感じました。

(渡辺委員) 昨年、熱中症が心配される季節になった頃に、二宮町の広報紙で『子どもたちがマスクを外して行動することもある』と掲載されていました。今年度もそのような投げかけが必要と感じます。また、小学3年生以下の児童は、入学時からマスクを着用するのが当たり前の学校生活になっています。高学年の児童は、休み時間に校庭で遊ぶときや、登下校時は会話をしないで、マスクを外して歩くなど、考えて行動できる子どもたち

も見受けられます。朝の会や帰りの会などで、いつマスクを着用することが必要なのか、どのようなときにマスクを外すことができるのか、状況に応じて、相手の行動を見て、子どもたちが自分で考えてもらうような働きかけが学校でもあるといいと思います。

(教育総務課長) 去年も同じような時期に、運動会の練習の中で、マスクを外したり、外してなかったり、先生によって異なる判断がされているという苦情があり、5月28日付で教育委員会から改めて国が示している基準を学校内で共有し、先生によって異なる対応がなされないようにしてください、と通知を出しました。また、地域では、その頃、熱中症よりもマスク着用が優先の考えが根強く、マスクを外して登下校すると怒られることがあったため、学校からも地域にマスクを外すことができる場面がある指導をしていることを学校だよりや広報紙でも周知しました。学校長に、去年1年の状況確認をしましたが、学校内での先生方のマスクに関する考え方は統一され、基本はマスク着用だけど、状況に応じて外すことができるので、柔軟に対応しています、とのことでした。今年も連休明けに再度、啓発の通知を出すことを検討しています。

4 付議事項

(1) 議案第1号 二宮町小中一貫教育推進計画について

(教育総務課長) 二宮町小中一貫教育推進計画について資料に基づいて説明

(野谷委員) この計画の内容は、どのような小中一貫校を作っていくのかなどが書かれていますが、町民の関心は、いつどこにどんな学校を作りたいのかだと思います。一色小学校の単級化の問題、一色小学校の卒業生が二宮中・二宮西中では少人数となる問題があります。小中一貫校を作る過程の中でも、その問題について議論し、解決していく必要があると思います。

(教育長) 一色小学校の件については、山西小学校と同じグループの中で小中一貫校をスタートします。子どもたち同士や先生方の交流を深め、少しでも解消されればと思います。教務担当には、校外学習や遠足などで、子どもたちが一緒に行動できるような機会をお願いしています。また、各学校の先生が作成している資料を学校の枠を超えて共有できる仕組みを今年度からスタートしています。

(渡辺委員) 改めてP1から読ませていただき、これまでの経緯と関わってきた方の思いがしっかりと酌み取られた1冊になっているのを感じました。P42のランドデザインで、9年間を見据えた小中一貫教育の目標を今の現時点での5校、二宮町として一つの目標になり、全職員から集めたキーワードを元になっていることも更に良いものになっていると思いました。

P54の令和4年度に施設分離型に向けて準備を始めることと、施設一体型の研究会を始めていくことですが、保留や後戻りがないよう確実に前進していき、柔軟に変更できると

ころは対応していく必要があると思います。特に、中学校グループが二つに分かれて、令和6年度の新中学1年生から中学校の選択制があります。それにより影響を受ける一色小学校の子どもたちに支障が出ないように、丁寧に責任を持って決めていき、話し合っていくことが必要だと思います。また、施設一体型の研究会が始まることで、5校維持から先に中学校を先に統合するなど、過程のあり方は柔軟に決めていく必要もあると感じています。

令和元年度に国立教育政策研究所の小松先生の話をお聞かせいただき、小中一貫教育を0歳から15歳までまちづくりと一貫して、幼保小中で支えていくような自治体のあり方が必要なことなど、とても印象に残っています。また小松先生は様々な事例や自治体の情報をもっていると聞きますので、研究会などでお話を聞く機会があるといいと思います。

研究会で一堂に会せる人数には限りがあると思います。しかし、未就学児の保護者など教育に関心がある方は大勢いると思いますので、研究会をオンライン配信してオープンな場で議論を進めていくことを検討していただきたいと思います。

(岡野委員) 推進計画の細かい具体的などころは、この後の研究会で決めていき、今は仮置きしているけれども、今後方向性が違って来る可能性もありますが、それを許容しながら、確実に進めていければいいと思います。ゴールイメージをもっと共有することが、大事な一つのポイントだと思います。二宮町と同じような境遇の分離型の学校を視察することも一つですが、最終ゴールイメージを先に持つ方が大事なのかなと思いますので、施設一体型の学校視察を検討いただければと思います。ゴールイメージを持ち、そこに向かうために、分離型でどの部分ができそうなのか、特に432でいくのであれば真ん中の3の部分分離型でどうやって取り組んでいるのかを視察することは必要だと思います。以前、京都の学校に視察させていただいた時、写真や文字では読み取れない、学校での音や距離感、子どもたちの動線など、学校に行かないと感じ取れないことがありました。例えば、掲示物は、低学年の教室の近くに高学年の行事の様子が貼ってあります。低学年の子が上級生の様子を常に見られるようになっていることは、小中一貫教育ならではの感じます。視察先も大事なポイントだと思いますので、必要な予算を組み入れていただければと思います。

国立教育政策研究所の小松先生は、以前、お会いしたことがあります。その際、いくつかの質問をさせていただいたのですが、質問の答えだけではなく、必ず実践例をつけていただいたことが印象的でした。また、教育関係の論文の参考文献をおついでくと、小松先生の文献にたどりつくことが多いので、そのくらい日本の教育界への影響力がある方だろうと感じます。そのような方に、アドバイスいただけるチャンスを逃す手はないので、きっかけを最大限に活用して、二宮町の学校システム作りに活かさせていただければいいと思います。

(藤原委員) 令和4年5年だと自分の子どもの話になってしまいますが、小松先生はかなり先までを考えて作っていくようなこととお話しされると聞いていますので、未来の子

どもたちや町に来る新しい人たちのことを考えながら町民の方たちと一緒に議論することが、小松先生とできるのではないかと思います。

一体型研究会と準備委員会がすごく離れてしまうことを危惧しています。令和5年はすぐ迫っていますので、現場の先生たちは、どちらかというやれることは何だろう、という視点で、仕方のないことですが、リスクのないように考えてしまうと思います。そうなってしまうと、教育委員会として2040年を見据えてやりたいことややるべきことを積み上げると、そこにギャップができそうな気がしています。連携を取っていただき、リスクはあるけれどもやるべきことだから、盛り込むべきところは盛り込んでいくことができると、研究会とこの令和5年が繋がってくると思うので、配慮をしていただきたいと思います。

(教育総務課長) 先進事例視察ですが、今年は分離型一貫校の視察に行くことで進めています。それ以外に目指すゴールという意味で、一体型の視察も検討していきます。一体型では、小中学校、小中一貫教育校、義務教育学校の3種類ありますが、最終ゴールは義務教育学校だと思いますが、当面のゴールは、小中学校を一つの学び舎に入れることだと思うので、義務教育学校、小中一貫校を研究員に探してもらいます。

(岡野委員) 我々が何を指そうとしているところだと思いますが、今の学校教育システムだと、究極は義務教育学校なので、校長先生が1人で9年間をまとめるシステムをまずは目指していくということだと思います。

(教育長) 町の考え方としては、小学校と中学校の施設を一緒にすることを最終ゴールとして、2040年に設定していますが、5校が一斉に集まることは難しいです。中学校同士や小学校同士、あるいは小学校中学校など段階的になると思いますが、その中にはその管理職などの教員のことも考えると、いきなり整理はできません。雇っておりますので、小学校と中学校を一緒にしたので、先生は何人必要で、何人余りました、雇用できませんということはいえませんが、そのため、年単位で計画していく必要があるので、その過程を見ることができればと思っています。

(教育総務課長) 今後の視察先については、検討していきます。

(野谷委員) ゴールにたどり着くためには、様々なハードルを乗り越えていかなければなりません。その前には、中学校を先に統合するのか、小学校を先に統合するのかなど手だては様々ありますが、まずは分離型から始めていくために、分離型の一貫校を視察し、その先のゴールである施設一体型、義務教育学校を並行して見に行くことができればと思います。

(教育総務課長) 令和5年度の分離型に関しては、本日この計画を議決いただいたという前提になりますが、毎月開催している校長会を中心に、まずは学校の中で、分離型でどう変えていくのかを学校関係者を中心に議論していきます。確かに、学校はリスクの少ない部分から始めていく議論になりがちだと思います。一方で、研究会については、教育委員さんを中心に学校関係者、地域の方、保護者を入れていきたいと考えていますので、も

う少し理想の部分の議論をすることになると思います。教育委員会定例会の中で、研究会と準備委員会がどんな議論しているのかをまとめます。両方の会に学校職員を入れる予定でいますので、お互いに共有していけるようにしていきたいと思っています。

(教育長) 委員に議案第1号について諮る。
出席委員全員賛成により、議案第1号は承認される。

(2) 議案第2号 学校運営協議会委員の委嘱について

(教育総務課長) 学校運営協議会委員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第2号について諮る。
出席委員全員賛成により、議案第2号は承認される。

(3) 議案第3号 青少年指導員の委嘱について

(生涯学習課長代理) 青少年指導員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第3号について諮る。
出席委員全員賛成により、議案第3号は承認される。

(3) 議案第4号 地域学校協働活動推進員の委嘱について

(生涯学習課長代理) 地域学校協働活動推進員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第4号について諮る。
出席委員全員賛成により、議案第4号は承認される。

5 報告・協議事項

(1) 令和4年度二宮町一般会計補正予算(第1号)について

(教育総務課長・生涯学習課長代理) 令和4年度二宮町一般会計補正予算(第1号)について資料に基づいて説明。

(渡辺委員) 各学校に設置される温水シャワーは、シャワーブースのようなものが設置されるのでしょうか。

(教育総務課長) その通りです。カビなどが発生しないよう電話ボックスのようなものを更衣室と一緒に設置します。

(岡野委員) 以前、学校内にWi-Fiを設置していますが、今回なぜ職員室に増設をするのでしょうか。

(教育総務課長) 令和2年度に国の補助金を活用し、Wi-Fiを設置しましたが、補助金を使って設置できるのが勉強する場所のみだったため、職員室に設置することができませんでした。職員室で教員がタブレットを使用して仕事をしていますが、ポケットWi-Fiの使用や他の教室から漏れる電波を拾うことで、大きな支障はありませんでした。しかし、インターフォンはWi-Fiを使用するため、使えない場所がないように増設することになりました。

(教育長) ラディアンのエアコン工事は、いつ頃の予定ですか。

(生涯学習課長代理) 工事は、休館日の月曜日を中心に来館者の利用に支障がないように考えています。

(教育部長) 7月上旬までにはと思っています。基盤が不足し、供給ができないのがネックになっていますが、できる限り早くしたいと思っています。

(2) 二宮町児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について

(教育総務班長) 二宮町児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

(3) その他

ー 次回教育委員会予定 ー

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

(渡辺委員) 小学校の運動会が平日に開催されるのは、コロナ禍の影響で、縮小開催の方向なのでしょうか。

(指導班長) その通りです。二宮小学校は3部の入れ替え制で、山西小学校は午前開催で行います。

(渡辺委員) 二宮小学校は1・2時間目に授業をし、3・4時間目に運動会をやるような学年で分かれてということでしょうか。

(指導班長) その通りです。

(野谷委員) 一色小学校は決まっていないのでしょうか。

(指導班長) 11月3日です。

(教育長) 一色小学校の開催時期については、新型コロナウイルス感染症が今以上に流行した場合に備えて、様々な行事に余裕をもった日程にしたため11月の開催になったと
のことです。開催時期については、来年は検討をすることになっています。また、11月
3日は、町の合唱祭と重なっているため、生涯学習課にプログラム等の考慮をお願いしま
した。

11時18分 閉会